

アルカリに関する試験結果

DATA

試験体：PAN 4X25S SUS410 ブランカ

試験条件：デシケーターに仕切りのある容器に対象品を入れ、対象品に次亜塩素酸ナトリウム (PH=11.7) に漬け、経過状態を 20 日間 (500 時間) 確認する。
試験状態を写真-1に示す。



写真-1 対象品 試験開始状態

結果

500 時間経過、試験体に錆は認められない。

アンモニアに関する試験結果

DATA

試験体：PAN 4X25S SUS410 ブランカ

試験条件：アンモニア水 (9.5 ~ 10.5w/v%) 80ml に純水 80ml を加え、約 5w/v% のアンモニア水を作成。
仕切りのある容器に作成したアンモニア水を対象品全体が漬かるまで注いで 7 日間 (168 時間) 放置し、水洗いした状態を確認する。
試験開始状態を写真-1に示す。



写真-1 対象品 試験開始状態

結果

7 日後 (168 時間経過) 試験後、水洗いしたものを写真-2に示す。
ねじ部に白錆びが認められるが赤錆は発生せず。



写真-2 試験後状態

ユニポイント[®] 神ゼロガード

次世代高耐食性ノンクロム電気亜鉛めっき

ZERO[®] ゼロクロメート[®]
CHROMATE

従来めっきの10倍以上の耐食性能

ステンレス製ねじ向け表面処理

BLANCA[®] ブランカ

従来パシペート処理の100倍以上の耐食性能

ユニポイント® 神ゼロガード

ZERO ゼロクロメート®
CHROMATE

K/MIYAMA

次世代高耐食性ノンクロム電気亜鉛めっき

ZERO ゼロクロメート®
CHROMATE

従来めっきの
10倍以上の耐食性能



ゼロクロメート特殊化成被膜 1μ
亜鉛被膜 8μ
鉄下地

SST白錆200時間クリア
(JIS規格：ユニクロめっき6時間)
SST赤錆800時間クリア

クロム・
コバルトフリーで
環境にやさしい

被膜1μで
液だまりゼロ

- ✓ REACH・RoHs 対応
- ✓ 主成分シリカが傷部を修復
- ✓ めっきの犠牲防食性能アップ
- ✓ 薄膜で十字穴適合性良好
- ✓ 切削性能、ねじ込みトルクを損なわない
- ✓ 従来ユニクロ被膜と同色系で変更容易

ステンレス製ねじ向け表面処理

BLANCA ブランカ®

従来パシペート処理の
100倍以上の耐食性能



ステンレス鋼板や
ハイテン鋼板でも焼付かない

**SUS410塩水噴霧試験
10,000時間以上赤錆なし**



ねじ込みトルク
最大30%軽減

打ち込みタイム
最大10%軽減

- ✓ REACH・RoHs 対応
- ✓ 傷ついても自己治癒（使用後でも高耐食）
- ✓ 犠牲防食で相手材も守る
- ✓ 電食に強い
- ✓ 表面が硬く焼付きにくい
- ✓ パシペート処理と同色系で変更容易

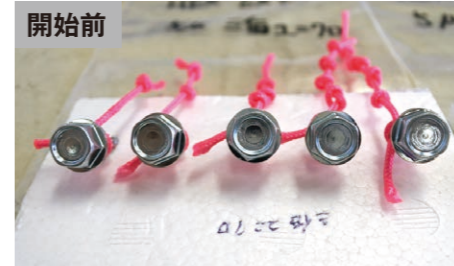


施工動画

ゼロクロメート

**SST 塩水噴霧
試験結果**
(JIS Z2371に準拠)

ユニクロ（公設試験研究機関）



赤錆発生

ゼロクロメート（自社試験）



白錆発生



赤錆発生

ゼロクロメート（公設試験研究機関）



白錆発生



赤錆発生

ゼロクロメートはキズにも強い

ゼロクロメート

**ねじ込み後品
試験結果**

DATA

試験体：PAN 4×35 ゼロクロメート
※SS400 鋼板 t1.6 に試験体を打ち込み後、抜いた物を使用。
試験時間：赤錆発生まで SST 試験 JIS Z2371 準拠

総評

ゼロクロメートは使用後であっても高い耐食性を維持する。

ゼロクロメート

未使用品

ねじ込み後品



赤錆発生



赤錆発生

ゼロクロメート

電食 試験結果

DATA

試験体：PAN 4×13 ゼロクロメート
締結相手材：ガルバリウム鋼板 AZ150
試験時間：240 時間 SST 試験 JIS Z2371 準拠

総評

ゼロクロメートと六価クロメートは電食影響が小さい。

ゼロクロメート



三価ユニクロ



六価クロメート



他社合金めっき



大阪での暴露試験

ゼロクロメート

暴露 (大阪府内塩害地域)

試験結果

DATA

試験体：PAN 4×13 ゼロクロメート
締結相手材：SS400 鋼板 t1.6mm
試験時間：2,112 時間 (3 カ月) 屋外経過時

総評

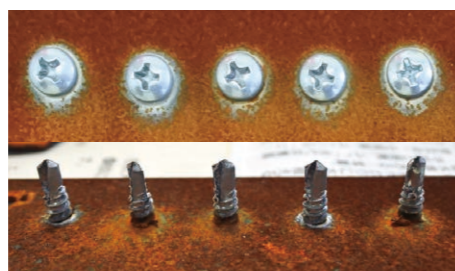
ゼロクロメートと六価クロメートは犠牲防食が認められる。
それ以外の製品は赤錆が発生した。

2,112 時間 (3 カ月) 経過写真

ゼロクロメート



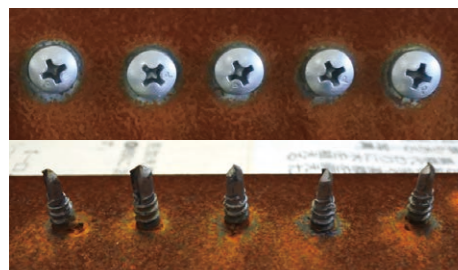
三価ユニクロ



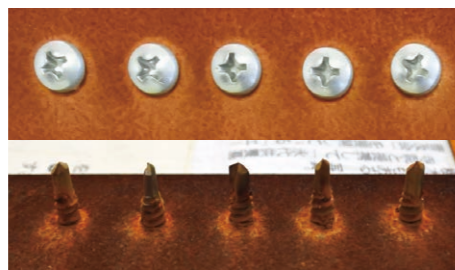
六価クロメート



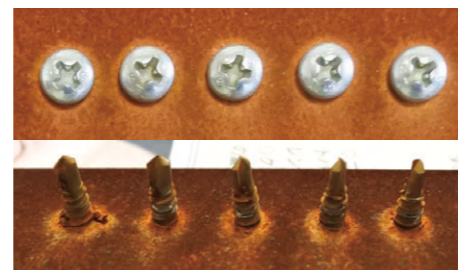
他社合金めっき



SUS410 パシペート



SUS410 他社高耐食不動態皮膜処理



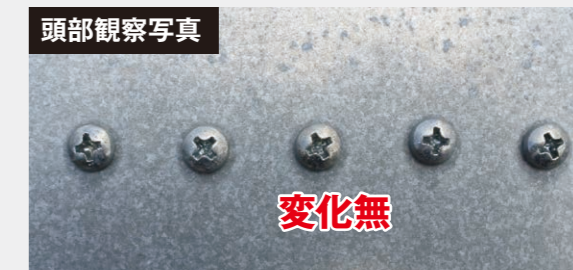
沖縄での暴露試験

沖縄県北部 重塩害地域 (海岸より約500m) にて暴露試験実施

4,320時間経過



頭部観察写真

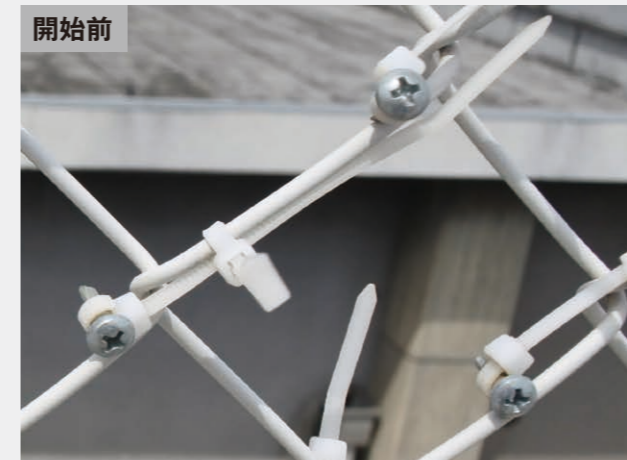


ねじ部観察写真



神山鉄工所屋上 (東大阪市) にて耐候暴露試験実施

開始前

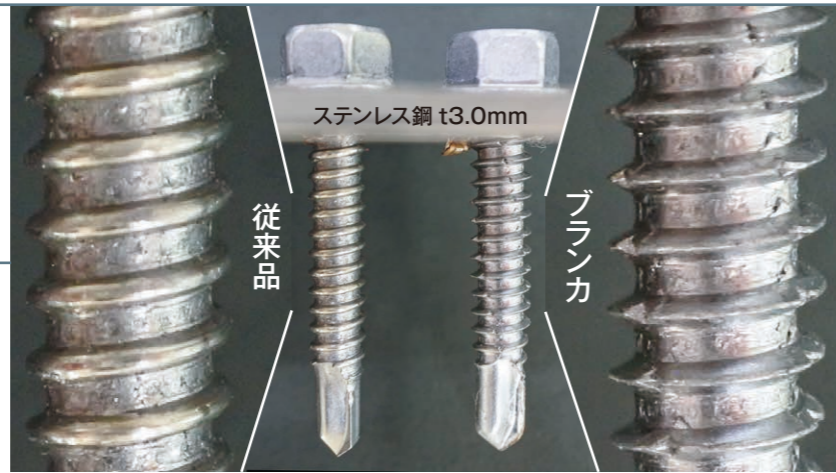


18,000時間経過



ブランカは表面が硬く焼付きに強いので、従来ドリルねじ(先孔あり)とブランカ(先孔なしで一発施工)と比べてもねじ山がきれいに保たれます。

ステンレス鋼t3.0mmに、先孔を開け従来ドリルねじパシペート品をねじ込み(左側)。
 ステンレス鋼t3.0mmに、先孔を開けずブランカドリルねじを一発施工(右側)。



左：従来ドリルねじパシペート品、右：ブランカドリルねじ

大阪での暴露試験

ブランカ

暴露(大阪府内塩害地域)
 試験結果

DATA

試験体：PAN 4×25S SUS410 ブランカ
 試験時間：12,300時間(17カ月)屋外経過時

総評

各種金属において電食の影響を受けていない。

SS400 鋼板



犠牲防食が働き、鉄板の赤錆発生も抑えている

アルミ板



電食は発生していない

ガルバリウム鋼板



電食は発生していない

ブランカ SST 塩水噴霧 試験結果 (JIS Z2371 に準拠)



塩素に関する試験結果

DATA

試験体：PAN 4×25S SUS410 ブランカ
 試験条件：デシケーター内径φ239・有効高さ188を使用し、以下の3条件で試験を行う。
 試験状態を写真-1に示す。

- 試験条件①：次亜塩素酸ナトリウム 6%(60000ppm)1,000ml 入れる 濃度 6%
- 試験条件②：次亜塩素酸ナトリウム 6%(60000ppm)500ml と水 500ml 入れる 濃度 3%
- 試験条件③：次亜塩素酸ナトリウム 6%(60000ppm)100ml と水 900ml 入れる 濃度 0.6%

棚板を置いて対象品を並べ蓋をする。
 蓋をあけず 1,000 時間放置し、1,000 時間後蓋をあけ中身を確認する。



写真-1 試験状態写真

結果

- (1) 1,000 時間経過写真を写真-2~4に示す。
- (2) いずれも試験体に錆は認められない。



写真-2 試験条件①

写真-3 試験条件②

写真-4 試験条件③